

大阪経済の情勢

(平成25年5月指標を中心に)

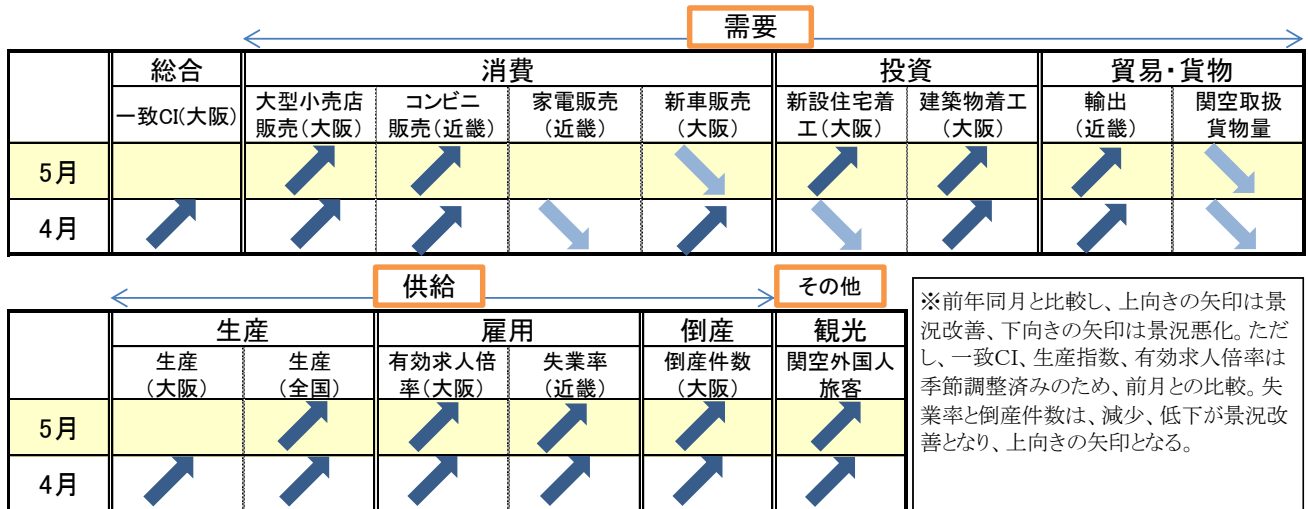
平成 25 年 7 月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチセンター)

「大阪経済は、持ち直している」

需要面では、個人消費は緩やかに持ち直しつつある。家電販売、新車販売は減少したが、大型小売店販売、コンビニ販売は増加。家計消費支出は増加。投資は、住宅投資は増加。非居住用建設投資は増加し、設備投資は横ばいの動き。公共投資は増加。輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸出額は、3ヶ月連続で増加し、主要国向けではEU以外の地域で増加。輸入は、5ヶ月連続の増加。取扱貨物量は、関空、大阪港、ともに減少。

供給面では、生産動向は持ち直している。大阪府(4月)は、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(4月、鉱工業)は上昇、全国の生産(5月、鉱工業)は上昇。在庫循環は在庫調整・在庫減らし局面。雇用は緩やかに持ち直している。所定外労働時間は減少したが、近畿の失業率は改善し、有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。倒産は件数、負債金額ともに減少。

先行きについては、景気動向指数(先行)はほぼ横ばい。今後は、海外経済の動向や、原材料価格、消費者物価の動向について、引き続き注意が必要。



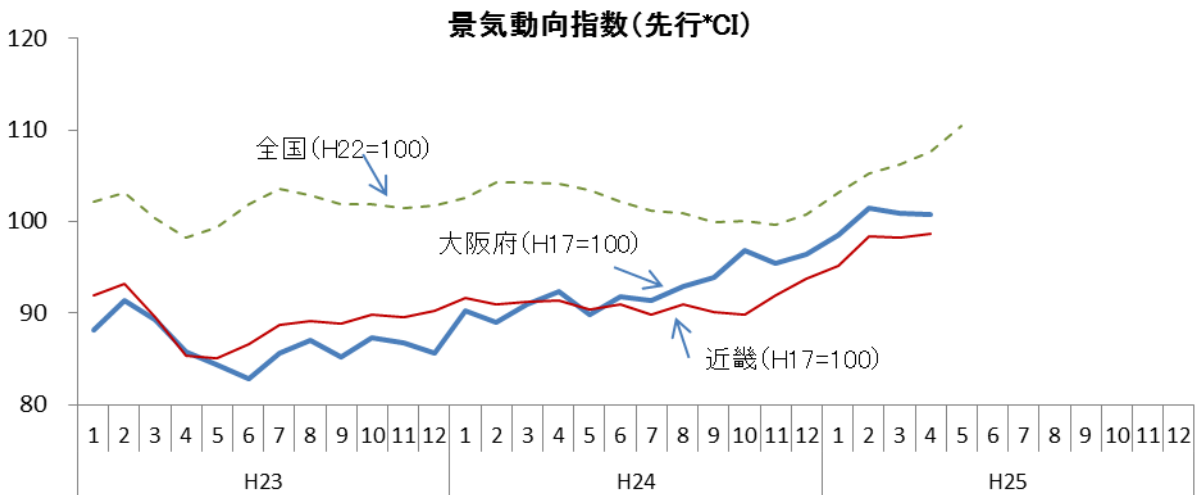
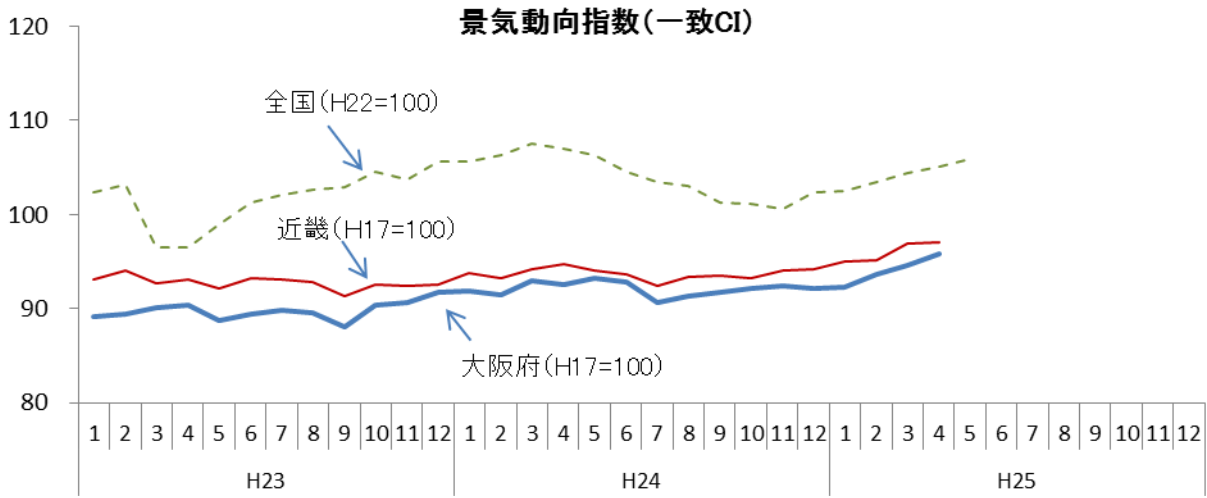
(参考)他機関の総括判断

	前回(25年5月公表分) (25年3月指標中心)	今回(25年6月公表分) (25年4月指標中心)
内閣府 「月例経済報告」	景気は、緩やかに持ち直している。	景気は、着実に持ち直している。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、持ち直しの動きがみられる。	近畿地域の経済は、持ち直しの動きが続く。
日本銀行大阪支店 「近畿地域金融経済概況」	近畿地域の景気は、下げ止まっており、緩やかな持ち直しに向けた動きがみられている。	近畿地域の景気は、緩やかに持ち直している。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(4月)は一致CIは上昇、先行CIは低下。近畿(4月)は一致CI、先行CI、ともに上昇。大阪府(一致CI)では、主に所定外労働時間指数(製造業)、有効求人倍率、生産指数が上昇に寄与。全国(5月)の一致は上昇。】



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」
 ※先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

一致CI

	H25年3月	4月	5月
大阪府	94.6	P 95.8	
近畿	96.9	P 97.1	
全国	104.4	105.1	P 105.9

先行CI

	H25年3月	4月	5月
大阪府	100.9	P 100.8	
近畿	98.2	P 98.6	
全国	106.2	107.7	P 110.5

一致CIの個別系列の寄与度*(大阪府、4月速報)

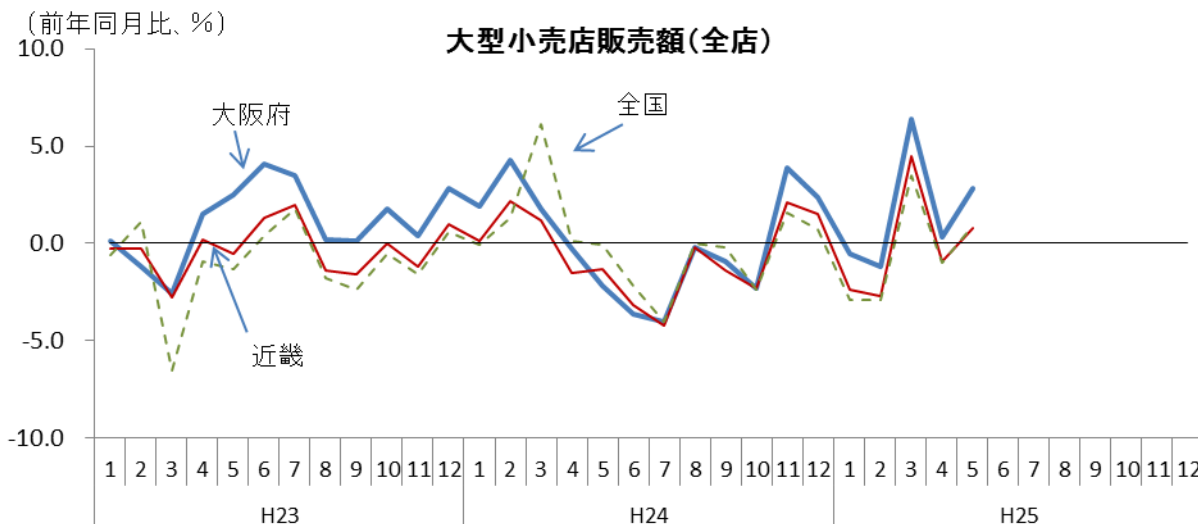
百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	関西大口電力 使用量(合計)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
▲0.33	0.13	0.23	0.16	0.03	0.20	0.84

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は緩やかに持ち直しつつある。家電販売、新車販売は減少したが、大型小売店販売、コンビニ販売は増加。家計消費支出は増加。

○大型小売店販売額(全店)【大阪府は3ヶ月連続の増加。大阪府の百貨店販売額は7ヶ月連続の増加。】



(資料) 近畿経済産業局「大型小売店販売状況」、経済産業省「商業販売統計」

		H25年3月	4月	5月
販売額(億円)	大阪府	1,249	1,335	P 1,378
前年比(%)	大阪府	6.4	0.3	P 2.8
	近畿	4.5	▲0.9	P 0.8
	全国	3.5	▲1.0	P 0.9

大型小売店販売の商品別の主な増減 (大阪府、全店、前年同月比(%)、5月速報)

増加	食堂・喫茶(16.7)、身の回り品(12.0)
減少	家具・家電・家庭用品(▲0.5)

百貨店(大阪府)

	H25年3月	4月	5月
販売額(億円)	751	665	P 681
前年比(%)	9.6	3.7	P 6.0

スーパー(大阪府)

	H25年3月	4月	5月
販売額(億円)	699	669	P 698
前年比(%)	3.2	▲2.9	P ▲0.2

(参考)大阪府内大型小売店へのヒアリングより

5月は、前半が低気温で推移したため、ゴールデンウィークや母の日商戦はまずまずであったが、後半は気温上昇や好天にも恵まれ、紳士ジャケット、ワンピース、Tシャツ、レギンス、サンダルなどの初夏・夏物のほか、サングラス、パラソル、化粧品といったUV関連商品、飲料・アイス、殺虫剤などが好調であった。

なお、時計・宝飾、ファッションなどの高額品や、省エネ性能の高い冷蔵庫も引き続き好調に推移した。

○コンビニエンスストア販売額(全店)【近畿は3ヶ月連続の増加。】

		H25年3月	4月	5月
販売額(億円)	近畿	1,169	1,129	P 1,190
前年比(%)	近畿	4.8	2.0	P 4.0
	全国	5.1	2.5	P 4.2

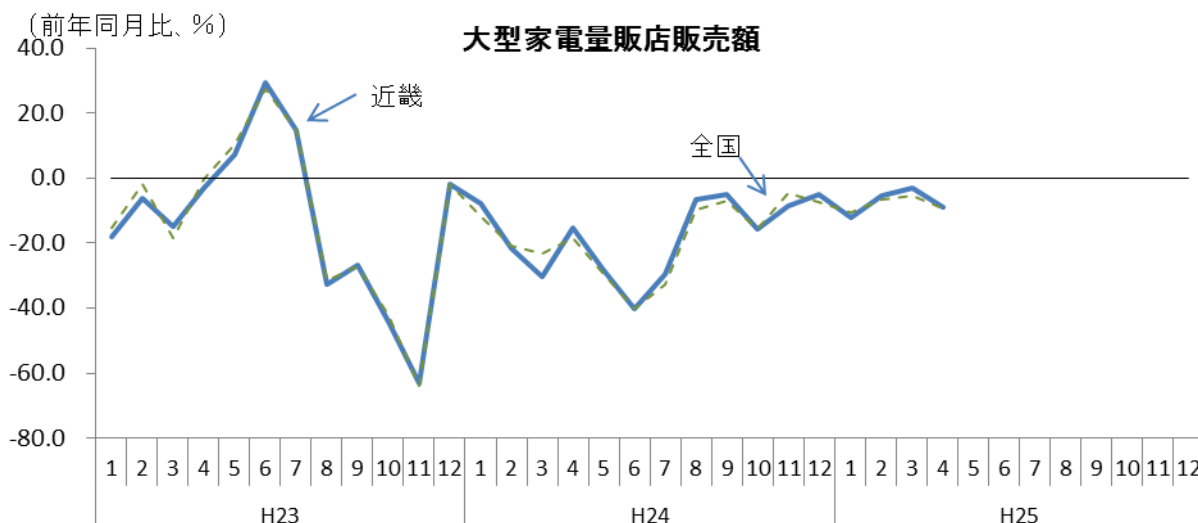
○家計消費支出【大阪市は3ヶ月連続の増加。】

		H25年3月	4月	5月
円	大阪市	318,761	324,018	341,767
前年比(%)	大阪市	6.2	7.0	27.7
	全国	6.5	0.4	1.1

(資料) 総務省統計局「家計調査」 ※二人以上の世帯うち勤労者世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○大型家電量販店販売額【近畿(4月)は21か月連続の減少。掃除機などが前年を上回ったが、パソコン(本体)、テレビなどが下回った。】



(資料) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

※平成23年4月分よりデータ集計対象企業が変更されたため、前後のデータと連続しない。

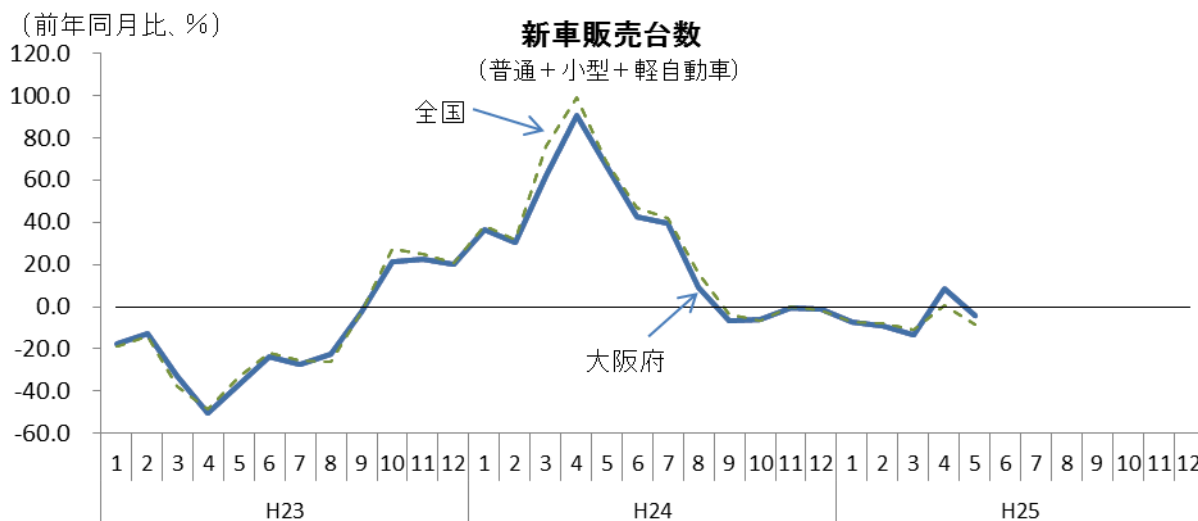
		H25年3月	4月	5月
前年比 (%)	近畿	▲3.2	▲8.9	
	全国	▲5.4	▲9.5	

商品別の主な増減

(近畿、前年同月比(%)、4月)

増加	掃除機(9.2)、電気暖房機(23.7)、 空気清浄機等(19.7)
減少	パソコン本体(▲15.5)、 テレビ(▲22.7)、

○新車販売台数【2ヶ月ぶりの減少。】



(資料) (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会

		H25年3月	4月	5月
販売額(台)	大阪府	26,813	16,191	15,931
前年比 (%)	大阪府	▲13.3	8.5	▲3.9
	全国	▲11.0	0.7	▲8.7

車種別の増減

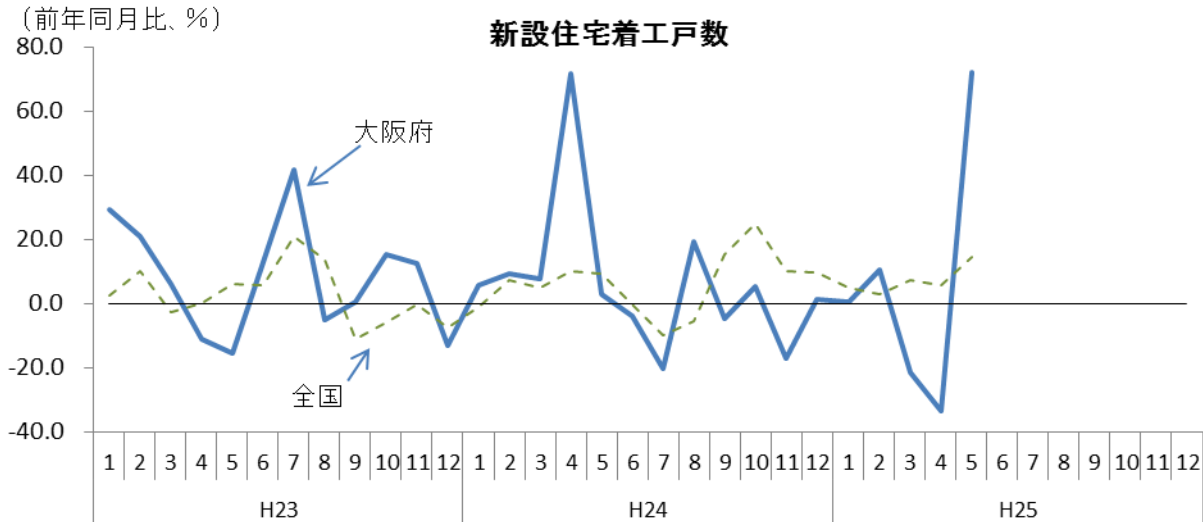
(大阪府、前年同月比(%)、5月)

普通車	小型車	軽自動車
3.6	▲6.7	▲9.5

[需要] 投資

投資は、住宅投資は増加。非居住用建設投資は増加し、設備投資は横ばいの動き。公共投資は増加。

○新設住宅着工戸数【3ヶ月ぶりの増加。】



(資料)国土交通省「住宅着工統計」

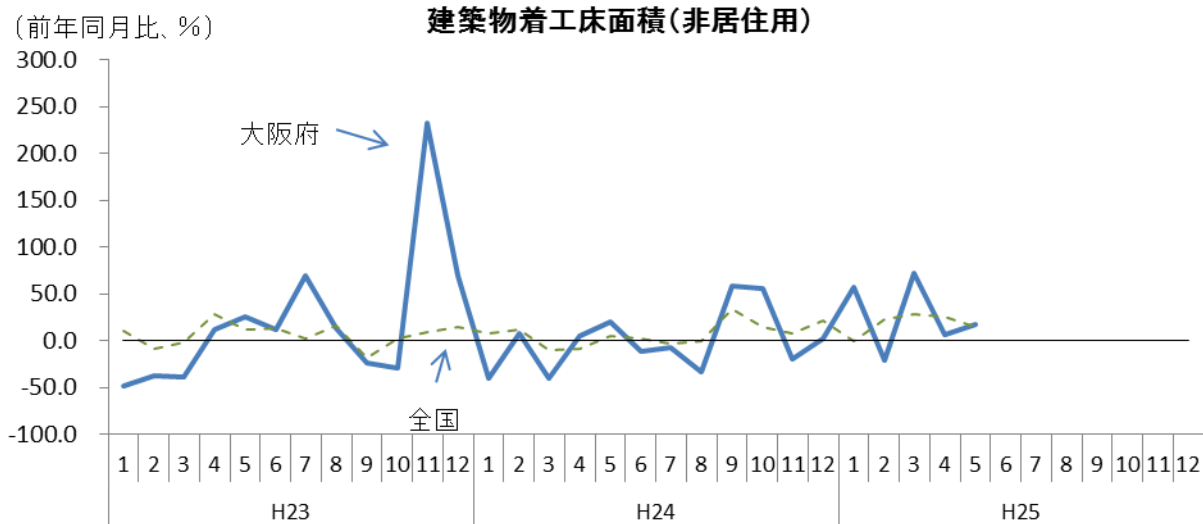
		H25年3月	4月	5月
戸数	大阪府	4,802	4,985	6,560
前年比 (%)	大阪府	▲21.4	▲33.3	72.1
	全国	7.3	5.8	14.5

利用者関係別の増減

(大阪府、前年同月比(%)、5月)

持家	貸家	分譲
32.2	129.1	42.3

○建築物着工床面積(非居住用)【大阪府は3ヶ月連続の増加。卸売業・小売業、不動産業などが増加。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

		H25年3月	4月	5月
千m ²	大阪府	444	255	236
前年比 (%)	大阪府	72.1	6.3	17.4
	全国	27.9	25.9	14.3

着工床面積の主な増減

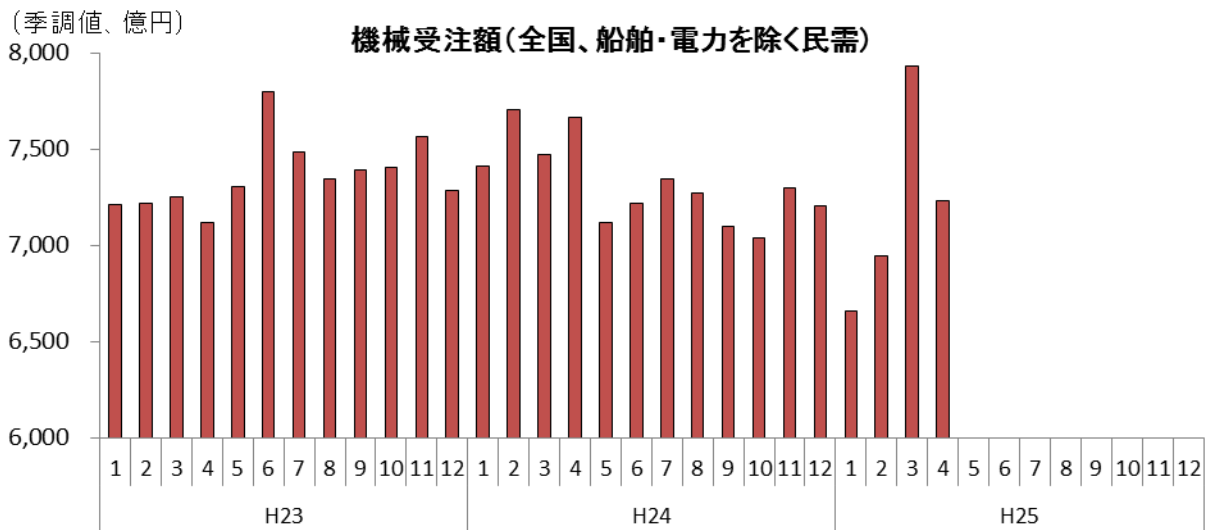
(大阪府、前年同月比の寄与度※(%)、5月)

増加	卸売業・小売業(16.7)、不動産業(10.6)、教育学習支援業(9.0)
減少	運輸業(▲12.8)、その他のサービス業(▲12.0)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

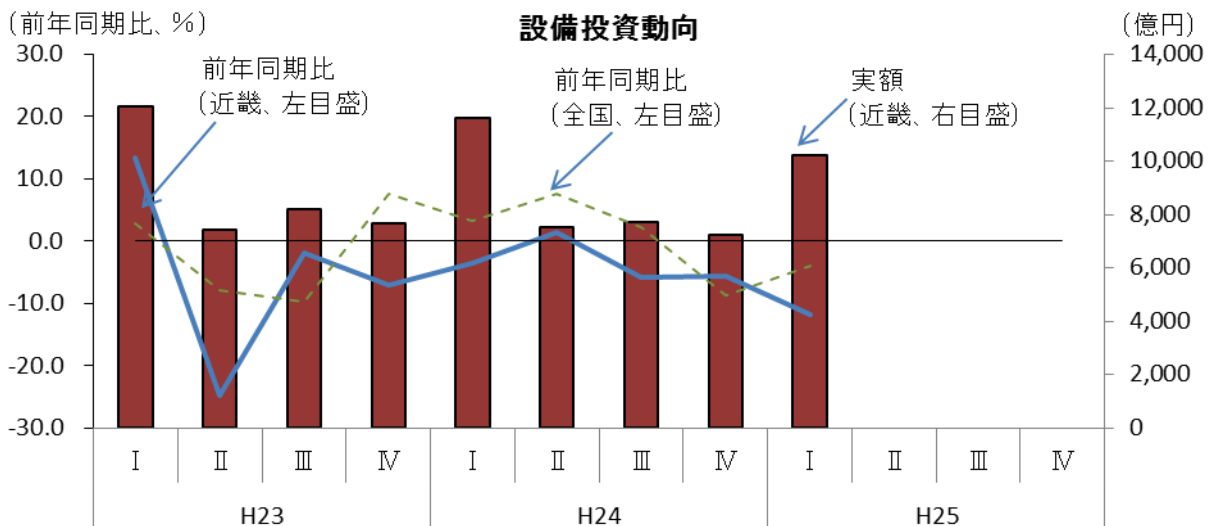
○機械受注額【4月(全国)は減少。先月の大幅増の反動あり。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	H25年3月	4月	5月
全国(億円)	7,931	7,233	

○近畿の設備投資動向【1~3月期は減少。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		H24年7~9月	10~12月	H25年1~3月
億円	近畿	7,723	7,238	10,237
前年同期比 (%)	近畿	▲5.8	▲5.6	▲11.8
	全国	2.2	▲8.7	▲3.9

○公共工事請負金額【2ヶ月連続の増加。】

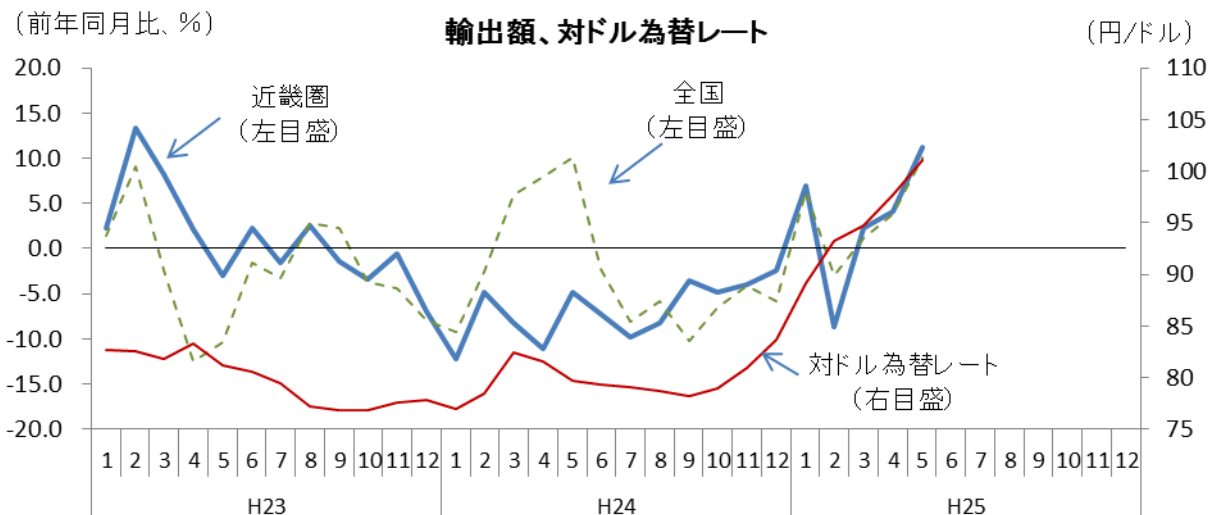
		H25年3月	4月	5月
億円	大阪府	287	533	506
前年比 (%)	大阪府	▲18.8	20.3	7.1

(資料)西日本建設業保証(株)「公共工事前払保証統計」

[需要] 貿易・貨物

輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸出額は、3ヶ月連続で増加し、主要国向けではEU以外の地域で増加。輸入は、5ヶ月連続の増加。取扱貨物量は、関空、大阪港、ともに減少。

○輸出額【3ヶ月連続の増加。半導体等電子部品、科学光学機器などが増加。主要国・地域向けでは、EU以外の地域で増加。】



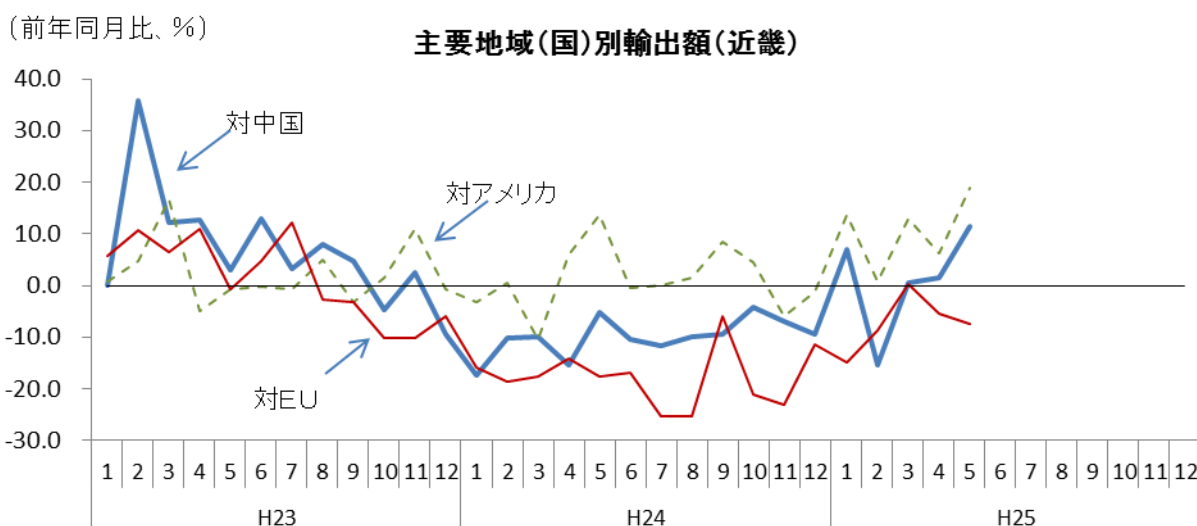
(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		H25年3月	4月	5月
輸出額(億円)	近畿	13,111	12,090	P 12,169
前年比 (%)	近畿	2.2	4.1	P 11.1
	全国	1.1	3.8	P 10.1
為替レート(円/ドル)		94.75	97.71	101.08

品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、5月)

増加	半導体等電子部品、科学光学機器、 鉱物性燃料
減少	原動機、音響・映像機器部分品、 建設用・鉱山用機械



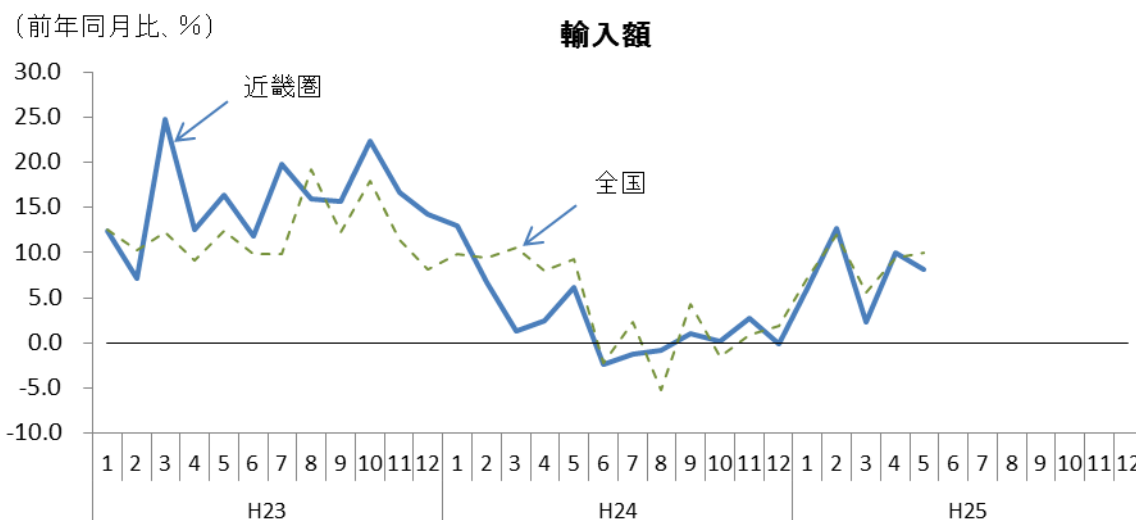
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%)、5月)

アジア(含む中国)	12.6	3ヶ月連続の増加
中国	11.5	3ヶ月連続の増加
EU	▲7.3	2ヶ月連続の減少
アメリカ	18.8	5ヶ月連続の増加

[需要] 貿易・貨物

○輸入額【5ヶ月連続の増加。通信機、衣類及び同付属品などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

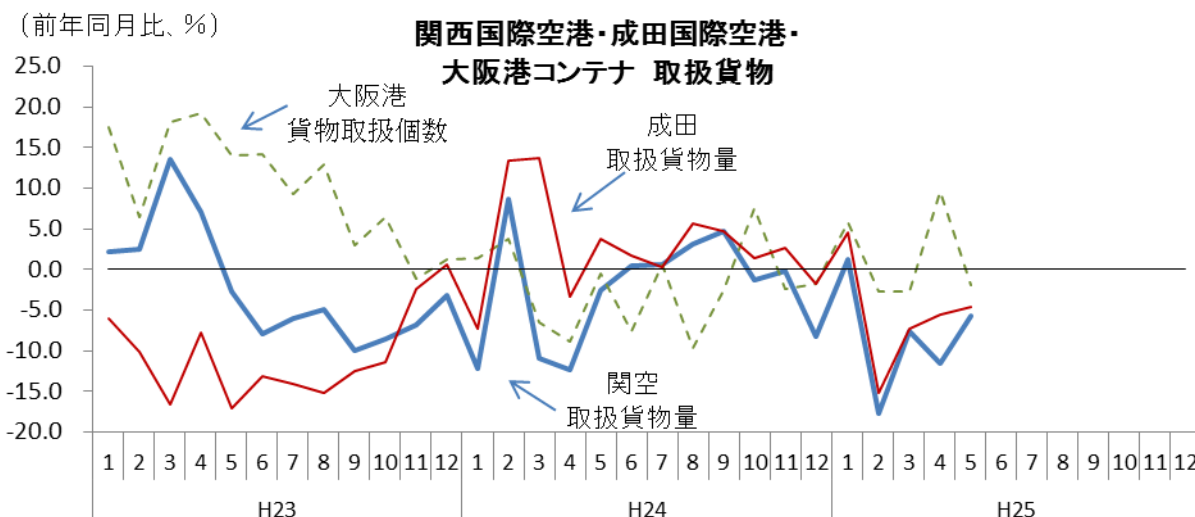
		H25年3月	4月	5月
輸入額(億円)	近畿	12,179	P 12,874	P 12,596
前年比 (%)	近畿	2.4	P 10.0	P 8.2
	全国	5.6	P 9.5	P 10.0

品目別の主な増減 (近畿、前年同月から増減額順、5月)	
増加	通信機、衣類及び同付属品、 半導体等電子部品
減少	原油及び粗油、石油製品、石炭

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%)、5月)

アジア(含む中国)	16.1	5ヶ月連続の増加
中国	12.6	5ヶ月連続の増加
EU	14.3	5ヶ月連続の増加
アメリカ	9.0	2ヶ月連続の増加

○関空取扱貨物量【4ヶ月連続で減少】、大阪港コンテナ貨物取扱個数【2ヶ月ぶりに減少。】



(資料)新関西国際空港(株)「運営概況」、大阪市「港湾統計」、成田国際空港(株)「運用状況」

※関西・成田国際空港貨物取扱量はトン、大阪港コンテナ貨物取扱個数はTEUで、外貨の実入+空の合計。

※TEUとは、コンテナ船の積載能力を示す単位で、1TEUは20フィートコンテナ1個分を示す。

関空取扱貨物量		H25年3月	4月	5月
千トン		P 59.1	P 52.5	P 53.3
前年比 (%)		P ▲7.6	P ▲11.6	P ▲5.7

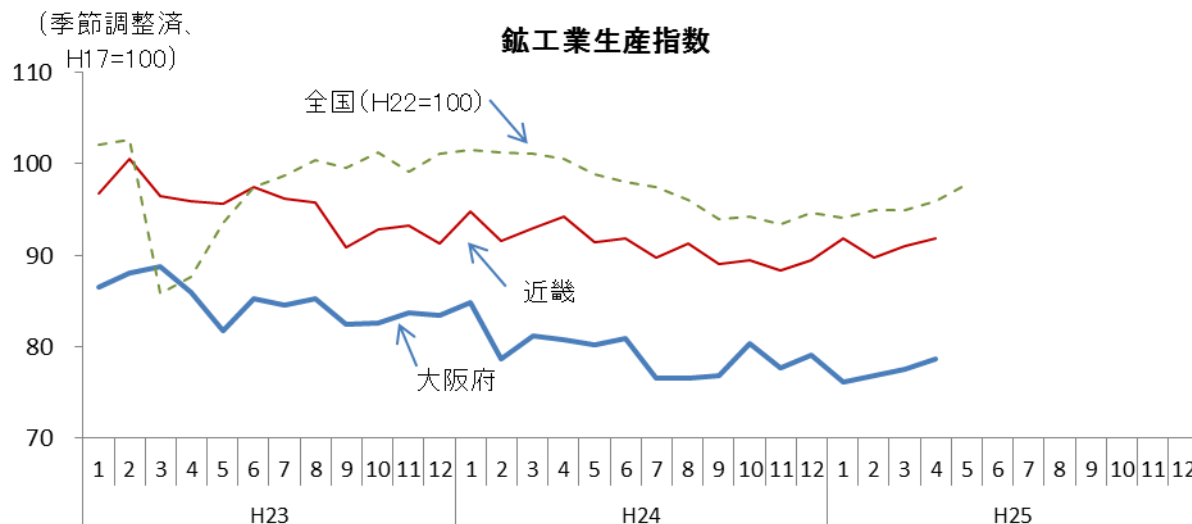
大阪港コンテナ貨物取扱個数		H25年3月	4月	5月
千TEU		P 172	PP 196	PP 180
前年比 (%)		P ▲2.7	PP 9.6	PP ▲1.9

※PPは速報値

[供給] 生産

生産動向は持ち直している。大阪府(4月)は、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(4月、鉱工業)は上昇、全国の生産(5月、鉱工業)は上昇。在庫循環は在庫調整・在庫減らし局面。

○鉱工業生産指数【大阪府(4月)は3ヶ月連続の上昇。電子部品・デバイス、一般機械などが上昇。近畿(4月)は2ヶ月連続の上昇。全国(5月)は4ヶ月連続で上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。全国は、5月分より平成22年基準へと変更

季調済	H25年3月	4月	5月
大阪府 (H17=100)	77.5	P 78.6	
近畿 (H17=100)	91.0	91.9	
全国 (H22=100)	95.0	95.9	P 97.8

産業別の主な変動
(大阪府、前月比(%))、寄与度順、4月速報)

上昇	電子部品・デバイス(69.2):液晶素子 一般機械(2.9):軸受、ポンプ 化学(1.4):メラミン、ポリプロピレン
低下	金属製品(▲2.1):鉄骨、食缶 窯業・土石製品(▲6.6): 板ガラス、ファインセラミックス 鉄鋼(▲1.6):小型棒鋼、普通鋼線材

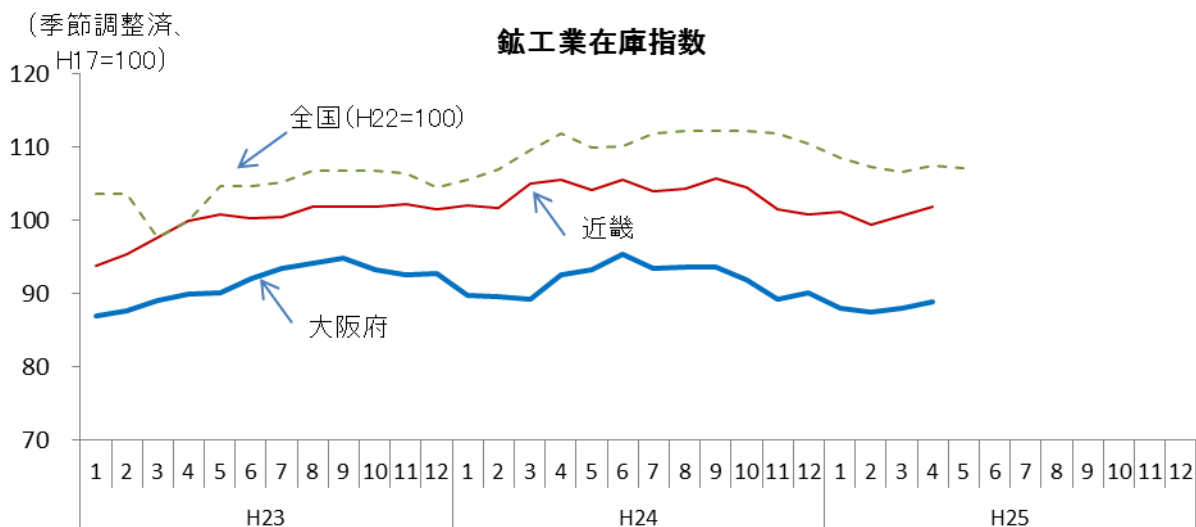
○鉱工業出荷指数【大阪府(4月)は5ヶ月ぶりの上昇。情報通信機械、石油・石炭製品などが上昇。近畿(4月)は2ヶ月連続の上昇。全国(5月)は3ヶ月ぶりの上昇。】

季調済	H25年3月	4月	5月
大阪府 (H17=100)	75.1	P 76.5	
近畿 (H17=100)	91.0	92.3	
全国 (H22=100)	97.2	95.8	P 96.6

(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。全国は、5月分より平成22年基準へと変更

[供給] 生産

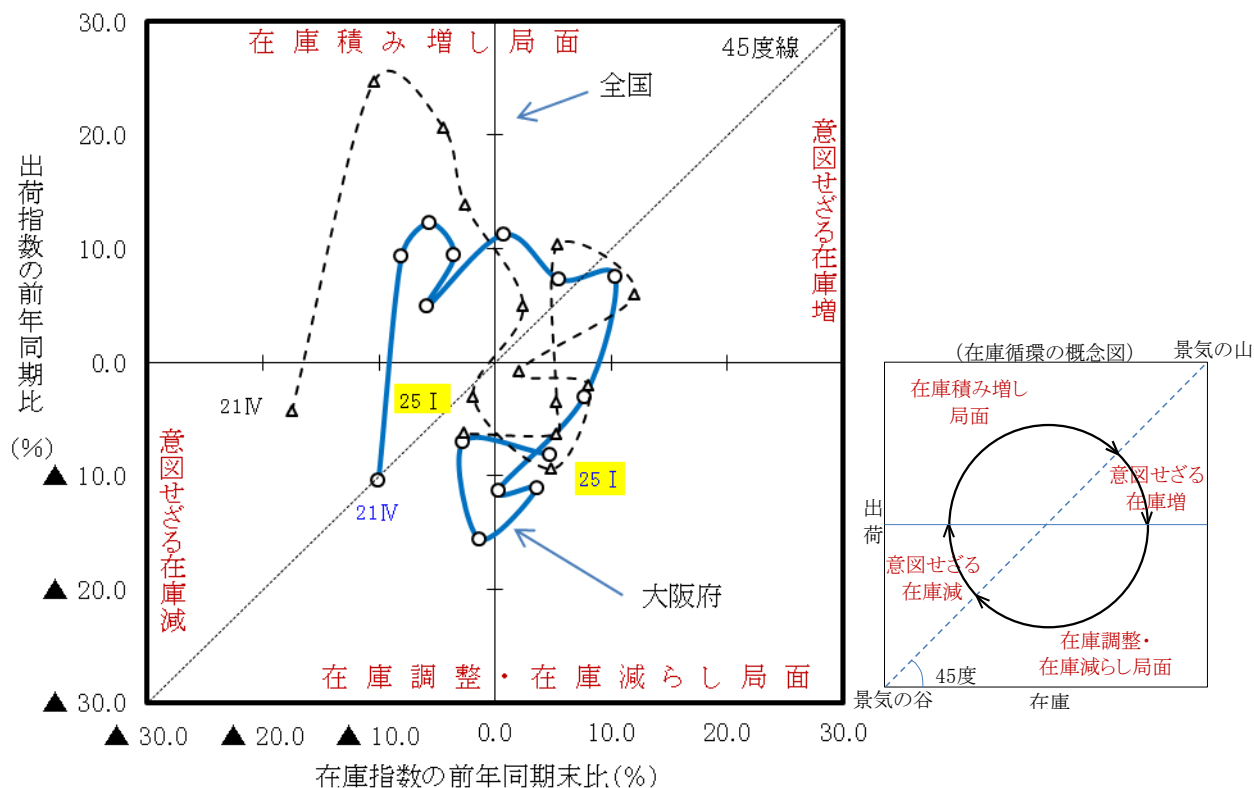
○**鉱工業在庫指数【大阪府(4月)は2ヶ月連続の上昇。一般機械、鉄鋼などが上昇。近畿(4月)は2ヶ月連続の上昇。全国(5月)は2ヶ月ぶりの低下。】**



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。全国は、5月分より平成22年基準へと変更

季調済	H25年3月	4月	5月
大阪府(H17=100)	88.1	P 88.9	
近畿(H17=100)	100.6	101.9	
全国(H22=100)	106.6	107.4	P 107.1

○**在庫循環図【大阪府、全国とも在庫調整・在庫減らし局面。】**



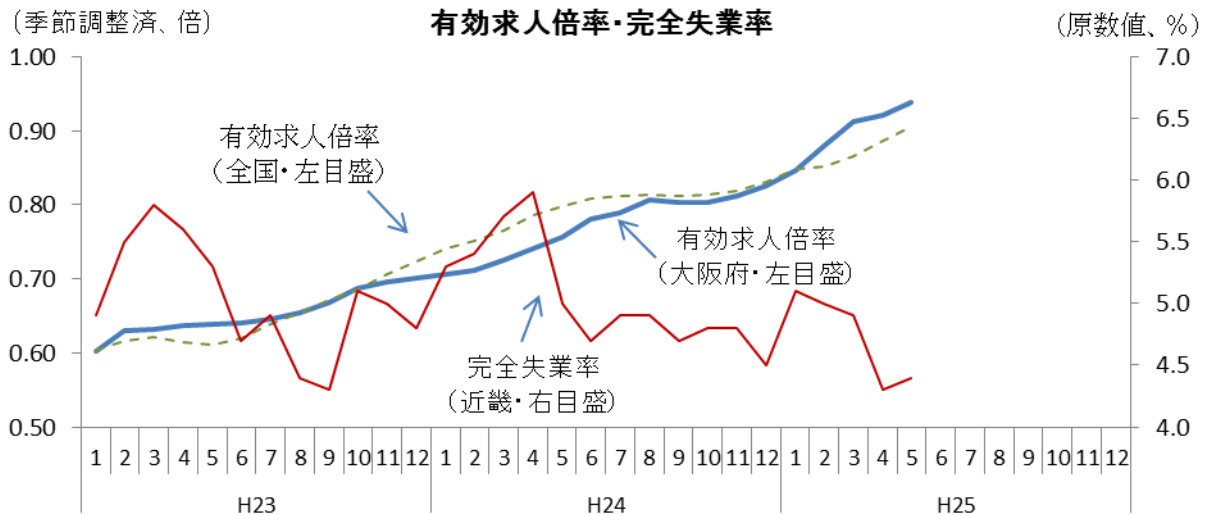
(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、経済産業省「鉱工業指数」、内閣府「鉱工業の在庫循環図と概念図」
※出荷指数は原数値の四半期平均。在庫指数は原数値の四半期期末月の数値。大阪府は製造工業指数。四半期は暦年ベース。
全国は、5月分より平成22年基準へと変更。

[供給] 雇用・倒産

雇用は緩やかに持ち直している。所定外労働時間は減少したが、近畿の失業率は改善し、有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。倒産は件数、負債金額ともに減少。

○完全失業率【近畿(5月)は前年同月差で低下(改善)。】

有効求人倍率【大阪は7ヶ月連続で上昇】、新規求人倍率【大阪は2ヶ月ぶりに上昇。】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	H25年3月	4月	5月
%	4.9	4.3	4.4
前年同月差	▲0.8	▲1.6	▲0.6

完全失業率(全国、季節調整値)

	H25年3月	4月	5月
%	4.1	4.1	4.1
前月差	▲0.2	0.0	0.0

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	H24年7~9月	10~12月	H25年1~3月
大阪府	5.6	5.6	5.4
近畿	4.8	4.7	5.0
全国	4.3	4.0	4.3

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	H25年3月	4月	5月
大阪府	0.91	0.92	0.94
全国	0.86	0.89	0.90

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	H25年3月	4月	5月
大阪府	1.52	1.45	1.48
全国	1.39	1.40	1.42

若年者の有効求人倍率(大阪府、倍、5月)

24歳以下	0.86
25~34歳	0.85

(資料)大阪労働局「労働市場月報」

※就職機会積み上げ方式、パートを含む

新規求人数の主要産業別の増減

(大阪府、前年同月比(%), 5月)

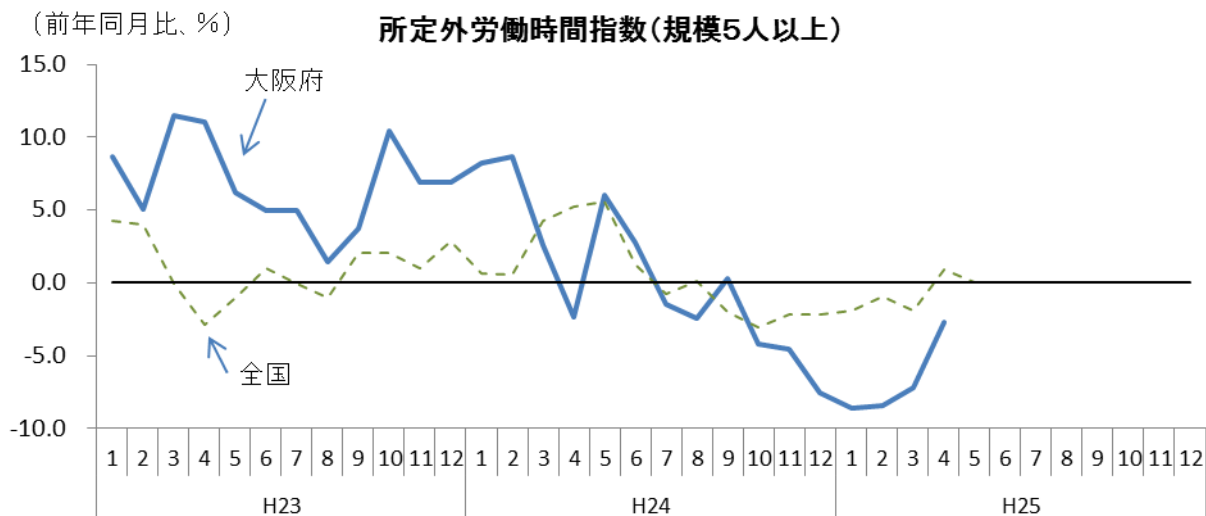
建設業	9.7
製造業	2.1
卸売業、小売業	5.2
宿泊業、飲食サービス業	38.4
医療、福祉	7.4

(資料)大阪労働局「求人・求職状況速報」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用・倒産

○所定外労働時間指数【大阪府(4月)は7ヶ月連続の減少。主に教育、学習支援業、建設業などが減少。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(H22=100)による。

		H25年3月	4月	5月
H22=100	大阪府	107.3	110.4	
前年比 (%)	大阪府	▲7.2	▲2.7	
	全国	▲1.9	0.9	P 0.0

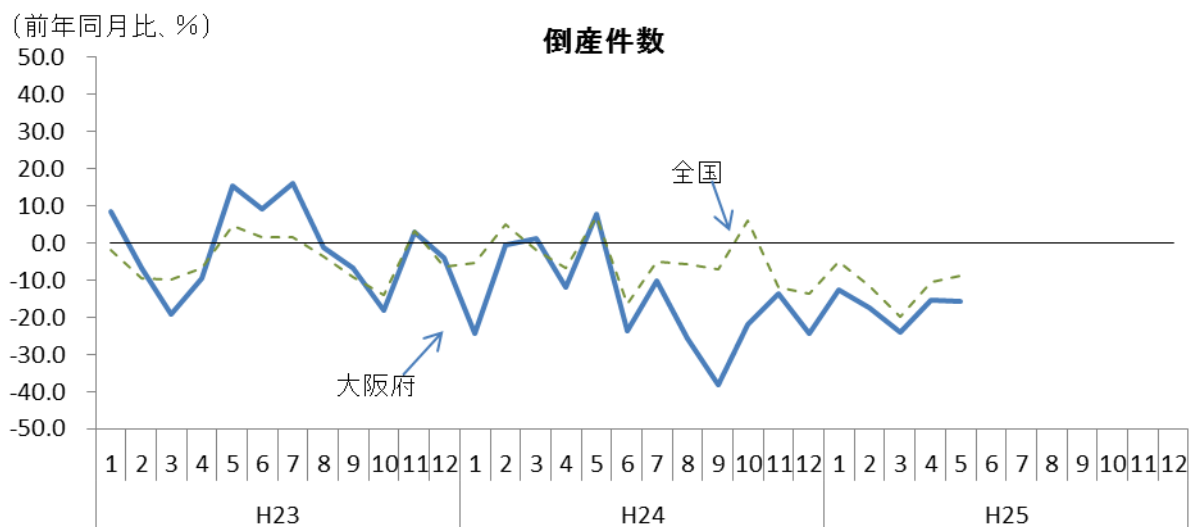
産業別所定外労働時間の主な増減

(大阪府、前年同月比(%)、4月)

増加	学術研究、専門・技術サービス業(18.2) 卸売業、小売業(15.4) 宿泊業、飲食サービス業(14.7)
減少	教育、学習支援業(▲37.9) 建設業(▲25.8) 医療、福祉(▲14.6)

[供給] 雇用・倒産

○倒産【倒産件数は12ヶ月連続の減少(改善)。負債金額は7ヶ月連続の減少(改善)。】



倒産件数

		H25年3月	4月	5月
件	大阪府	129	126	150
前年比	大阪府	▲24.1	▲15.4	▲15.7
(%)	全国	▲19.9	▲10.4	▲8.9

負債金額

		H25年3月	4月	5月
億円	大阪府	125	166	112
前年比	大阪府	▲34.0	▲27.5	▲42.4
(%)	全国	▲52.3	199.6	▲38.6

主要業種の倒産件数(大阪府)

	H25年3月	4月	5月
建設業	29	22	32
製造業	24	33	24
卸売業	27	17	28
小売業	9	12	18
サービス業	24	24	28

主な倒産(大阪府、5月)

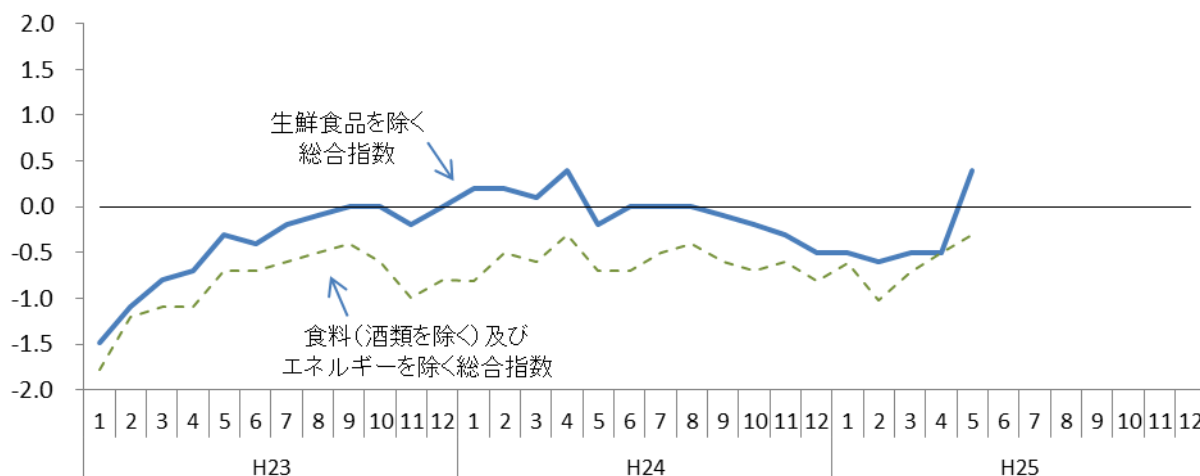
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
化学工業薬品販売等	900	既往のシワ寄せ
洗車業	671	既往のシワ寄せ

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は9ヶ月ぶりに上昇。光熱・水道が上昇に寄与。食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は50ヶ月連続で低下。】

(前年同月比、%)

消費者物価指数(大阪市)



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」 ※H22=100

生鮮食品を除く総合指数(H22=100)

		H25年3月	4月	5月
指数	大阪市	99.1	99.4	99.9
前年比 (%)	大阪市	▲0.5	▲0.5	0.3
	全国	▲0.5	▲0.4	0.0

食料(酒類除く)及びエネルギーを除く総合指数(H22=100)

		H25年3月	4月	5月
指数	大阪市	98.0	98.4	98.3
前年比 (%)	大阪市	▲0.7	▲0.5	▲0.5
	全国	▲0.8	▲0.6	▲0.4

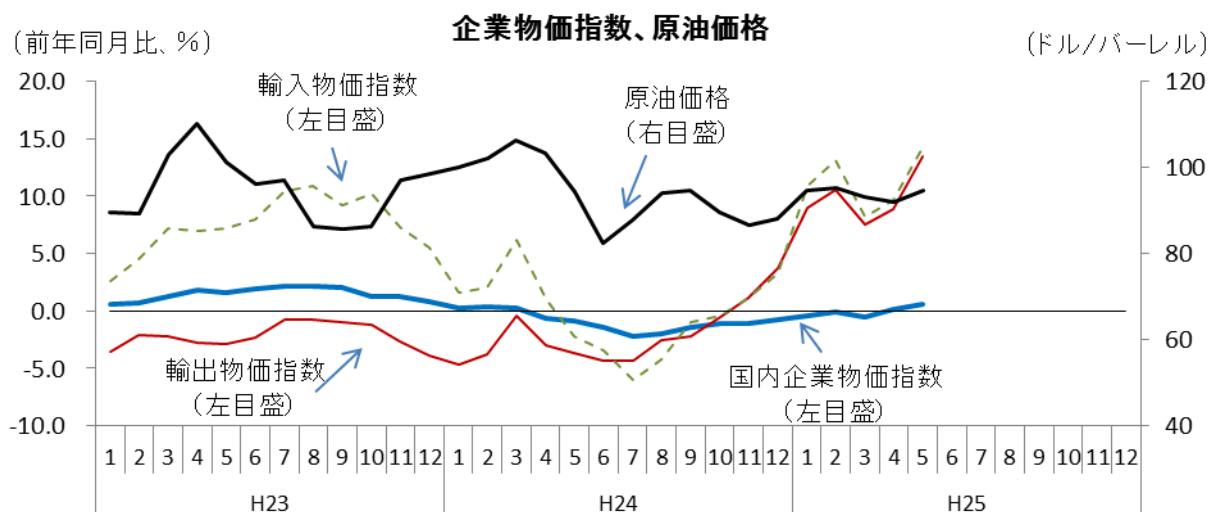
主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、5月速報)

上昇	光熱・水道(7.9):電気代、ガス代
低下	食料(▲1.8):野菜・海藻(ねぎ、キャベツ、だいこん)、果物(りんごB、メロン、すいか)
	教育娯楽(▲1.4):教養娯楽サービス(放送受信料(NHK)、インターネット接続料)、教養娯楽用品(メモリーカード、グローブ、園芸用土)

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数、輸出物価指数、輸入物価指数はすべて上昇。原油価格は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は H22=100。

企業物価指数 (前年同月比 (%))

	H25 年 3 月	4 月	5 月
国内企業物価指数	▲0.5	0.1	P 0.6
輸出物価指数	7.6	8.9	P 13.5
輸入物価指数	8.2	9.6	P 14.2

原油価格 (WTI)

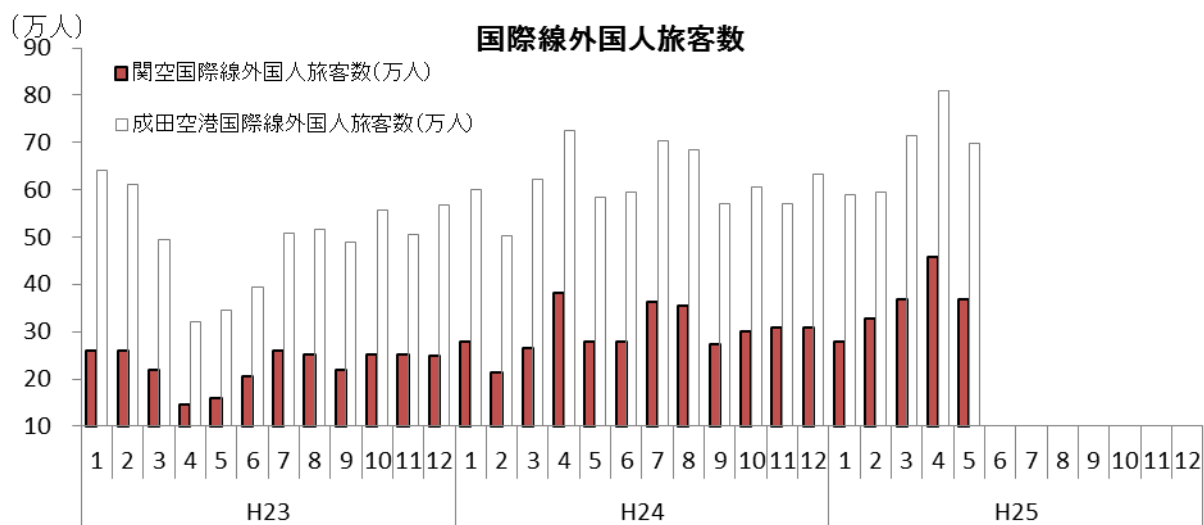
	H25 年 3 月	4 月	5 月
ドル/バーレル	93.12	92.02	94.72

国内企業物価指数の前月差変化に寄与した
主な類別・品目 (5月速報、寄与度 (%))

電力・都市ガス・水道 (0.15) : 業務用高压電力、産業用高压電力、 産業用特别高压電力、低压電力
化学製品 (0.04) : ベンゼン、プロピレン、パラキシレン
非鉄金属 (0.03) : 銅地金、アルミニウム合金・同二次合 金地金
鉄鋼 (0.01) : 普通鋼鋼管、ステンレス冷延鋼板
石油・石炭製品 (▲0.11) : ガソリン、軽油、A重油

[その他] 観光

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【15ヶ月連続で増加】

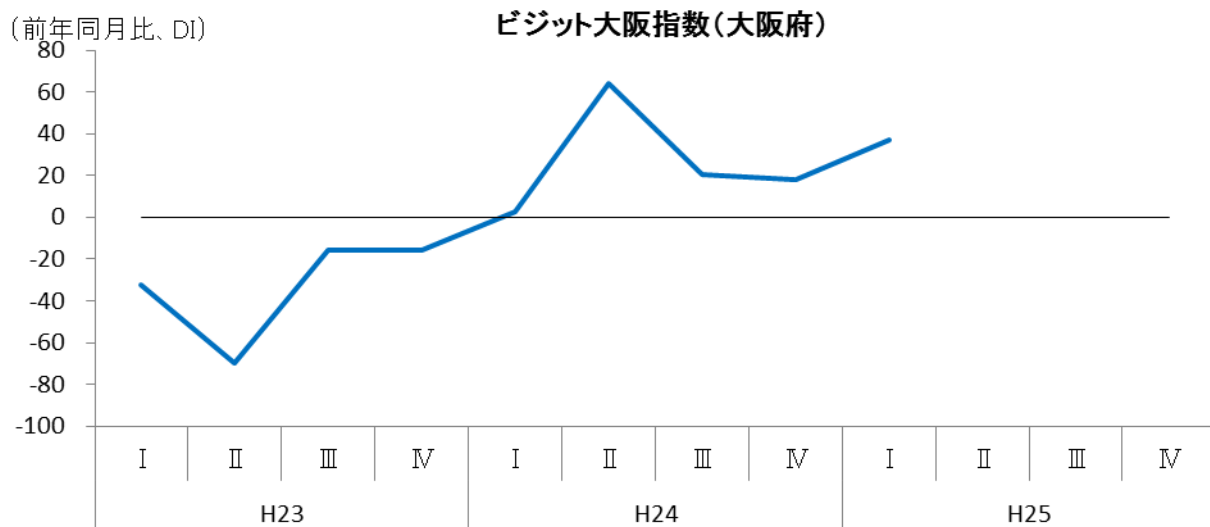


(資料) 新関西国際空港(株)「運営概況」、成田国際空港(株)「運用状況」

関西空港外国人旅客数

	H25年3月	4月	5月
万人	36.8	P 45.7	P 36.8
前年比(%)	38.4	P 19.7	P 32.4

○ビジット大阪指数(DI)【前年同期比で、1～3月期は前回調査より大幅に上昇】



(資料) 大阪府都市魅力・観光課「大阪府観光統計調査」

※四半期は暦年ベース。DI:「好調」の割合(%)－「不調」の割合(%)。

	H24年7～9月	10～12月	H25年1～3月
DI(前年同期比)	20.5	18.2	37.1